

チェックシート フラットルーフ

中間検査

責任施工業者				
工事名				
区分	チェックポイント	良	否	改善方法
材 料	溝板の厚さは、0.35mm以上で且つ仕様書通りの厚さが使用されているか。			
	溝板は吊り子と一体になっているか。又は溝板と吊り子が別の場合、吊り子は通し吊り子となっているか。			
	下葺材は、アスファルトルーフィング940以上が使用されているか。			
墨出し	割付け、墨出しは、施工図通りであるか。			
下地の状態 及び下葺き	断熱材の使用は指定してあるか。使用の場合、同等又は同等以上の品質であるか。			
	屋根勾配は、3/100程度以上となっているか。			
	下葺材の重ねは、100 mm 以上で横貼りとなっているか。又、縦貼りの場合は、200mm以上となっているか。			
シーリング材	ハゼのテープは、切れめなく貼られているか。			
吊 子	固定釘は、有効打込み長さ45mm以上のものを使用して、250mm以内の間隔で止めてあるか。			
唐 草 けらば納め	唐草、けらばを釘止めとする場合、釘の長さは32mm以上を使用、500mm以内の間隔で取り付けられているか。			
	継ぎ目重ねは、30mm以上となっているか。			
	垂れ下がりは、野地板より10mm以上下がっているか。			
水上端部	立上がり部分は、八千代折りを基準とし、水返しを付けてあるか。			
適用				

検査日	年 月 日	再検査日	年 月 日
-----	-------	------	-------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局

検査員氏名

検査員資格番号

チェックシート フラットルーフ 完 成 検 査

責任施工業者				
工 事 名				
区 分	チェックポイント	良	否	改善方法
棟 納 め	棟包みは、棟板に32mm以上の釘を500mm間隔以内で止めてあるか。(防水テープでも可)			
	棟包みは、ハゼ組とする方法で施工してあるか。			
水 上 部 分 及 び 登 り の 雨 押 え	雨押え立上りは120mm以上で、ハゼ組か又は、垂れ下がり部分を溝板まで下げてあるか。			
	水上部分の立上りは、ハゼを倒して120mm以上の立上りとし、水返しを付けてあるか。(防水テープでも可)			
	棟納めに準じて止めてあるか。			
シ ー リ ン グ	各部分の必要な箇所へのシールは出来ているか。			
そ の 他	屋根材の表面に傷はないか。又、タッチアップ等の補修がされているか。			
	屋根の上や関係する場所の清掃が行われているか。			
適 用				

検 査 日	年 月 日	再 検 査 日	年 月 日
-------	-------------	---------	-------------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局

検 査 員 氏 名

検査員資格番号